



連合ホームページ
<http://www.midorinet.kisogawaugan.jp>

農業用水情報

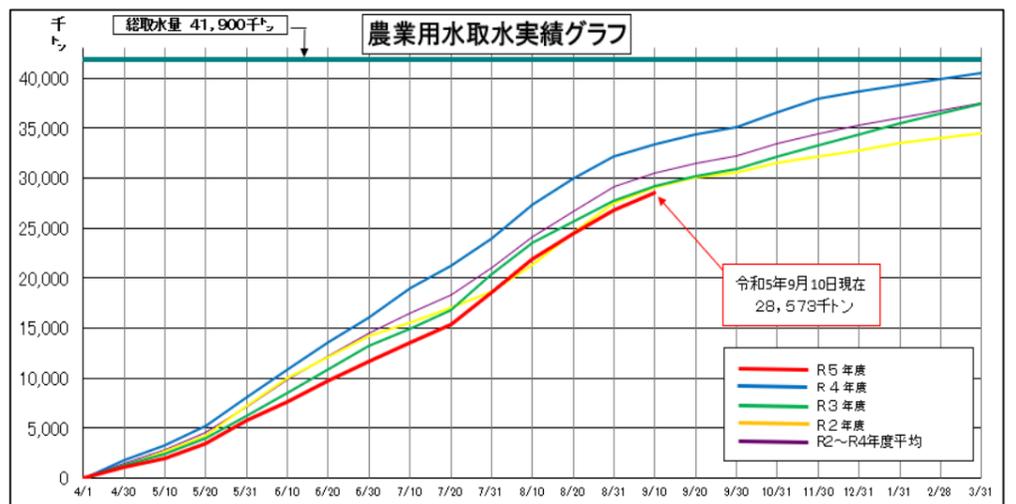
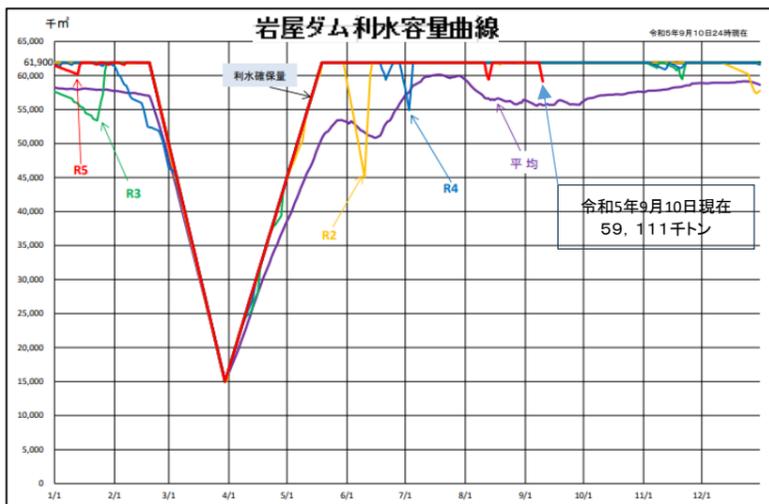


岩屋ダム利水貯水量 5,911万トン (貯水率 95.5%)

農業用水取水量 2,857万トン (取水率 68.2%) (ともに9月10日現在)

立秋以降の長い残暑は9月に入ってもなかなか収まらず、秋の気配を感じるスピードが年々遅くなっていくように感じられます。日本には四季折々の風習がありますが、秋の風習と言えばお月見です。十五夜のお月見は、これから始まる秋の収穫期を前に「豊作を願う」「収穫に感謝する」という収穫祭の意味合いも含まれているようです。稲に見立ててすすきを飾り、積み上げた月見団子などをお供えしますが、地域によっては里芋や栗など収穫されたばかりの農作物を供え、豊作に感謝していたようです。旧暦の8月15日は「中秋の名月」と呼ばれ、一年で最も綺麗な満月を見ることができると言われていますが、現代の暦に当てはめると、今年は9月29日が「中秋の名月」にあたるようです。この日は月を眺めながら、ぜひ秋の風情を感じ取っていただければと思います。受益者の皆様には、普通植えの稲の刈取りが最盛期を迎える時期かと思いますが、まだまだ日中は暑い日も多いため、暑さ対策をしながら農作業を進めていただきたいと思います。

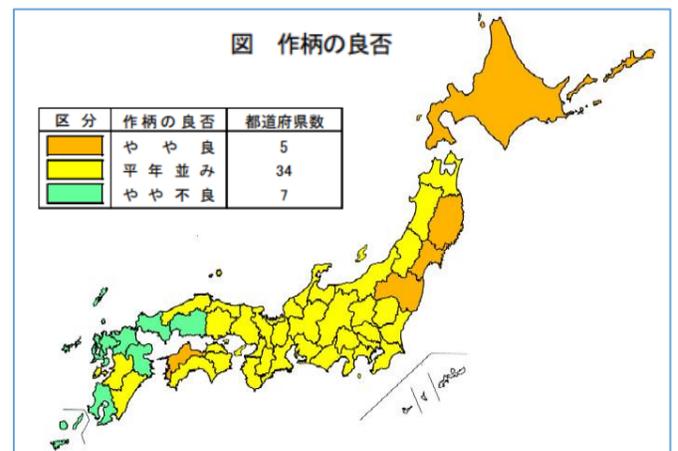
さて、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、9月に入ってから降水量が少なかったため、9月10日現在で5,911万トンで、貯水率は95.5%となっています。今年度においても渇水の心配をすることなく、安定的に水を供給することができましたが、引き続き降雨状況やダムの貯水状況に注視していくことが必要です。また、9月10日現在の農業用水取水量は2,857万トン(取水率68.2%)で、過去3ケ年の平均取水量より197万トン程度少なくなっています。受益者の皆様には、中干し節水や地区内水源の優先利用に努めていただくなど、節水にご協力いただき、誠にありがとうございました。



令和5年産水稻の作柄概況(8月15日現在)が公表されました

気象データや人工衛星データなどにに基づき予測された、全国の令和5年産水稻の作柄は、右図のとおり、「やや良」が5道県、「平年並み」が34都府県、「やや不良」が7県と見込まれています。これは、田植期以降、おおむね高温・多照で推移し、出穂期までの天候に恵まれた地域がある一方で、6月から7月にかけての梅雨前線や台風6号による大雨等の影響が見込まれる地域もあるようです。

なお、遅場地帯である岐阜県の作柄概況については、「平年並み」と予測されています。
 (農林水産省 8月31日公表)



8月の気象概況(岐阜地方气象台 9月4日発表)

8月は高気圧に覆われて晴れとなった日もありましたが、台風7号や湿った空気の影響により、曇りや雨となった日が多くなり、大雨となった所もありました。平均気温は、晴れた日が多く暖かい空気に覆われやすかったため、各地点とも平年より高くなり、日照時間も平年より長くなりました。一方で、降水量は県内でも多い所と少ない所ではばらつきがありました。

観測地点	気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(h)	
	日平均	最高	最低	過去の月平均	月計	日最大	時最大	過去の月平均	月計	過去の月平均
美濃加茂市	28.7	38.3	22.5	27.5	232.5	62.5	36.0	179.9	220.1	198.8
岐阜市	29.6	38.7	23.2	28.3	288.5	99.5	52.5	169.5	203.0	202.4
大垣市	29.5	37.9	23.4	28.1	260.5	65.5	38.0	166.1	199.7	199.9
多治見市	28.8	38.8	21.9	27.7	150.5	44.0	25.0	149.6	225.1	209.4
高山市	26.2	37.0	18.9	24.4	91.5	25.0	25.0	197.9	228.9	177.3

※「過去の月平均」とは、平成3年から令和2年までの30年間の8月の平均値です。